



花き生産情報第1号【要約版】

平成31年4月18日発表
青森県「攻めの農林水産業」推進本部

施設内の温度変化が激しい時期です。適正な栽培管理により高品質な花きの生産に努めましょう。

1 夏秋ギク

- (1) 8月上旬出荷の作型は、例年並の4月中旬から定植作業が始まっている。苗の生育は順調であり、病害虫の発生は見られていない。
- (2) 今後の作業
 - ・苗の親株の管理では、最高温度25℃を目安にハウスの換気に努める。移植栽培の挿し芽は定植2週間前に行い、定植1週間前から徐々に温度を下げ、順化させる。
 - ・8月上旬出荷の作型では、定植を5月上旬までに行う。

2 トルコギキョウ

- (1) 春定植における苗の生育は、一部ばらつきがあるものの概ね順調であり、病害虫の発生は見られない。定植作業は例年並の3月下旬から始まっている。
- (2) 今後の作業
 - ・は種直後は発芽適温である20～25℃で管理し、発芽が揃った後は徐々に温度を下げ、15～20℃で管理する。
 - ・8月上旬出荷の作型では、4月下旬を定植の目安とし、老化苗は生育が劣るので、展開葉4枚までの苗を定植する。

※アップルネット (<http://www.applenet.jp/>) に本文を掲載しています。

◎決め手は土づくり！ 日本一健康な土づくり運動展開中！
ほ場の準備に当たっては、土壌診断に基づいた土づくりに努めましょう。

◎農薬の使用に当たって、
農薬は適正に使用しましょう。
農薬の飛散を防止しましょう。
農薬は使い切り、河川等へ絶対捨てないようにしましょう。
クロルピクリン剤など土壌くん蒸剤を使用する際は、必ずポリエチレンフィルム等（厚さ0.03mm以上または難透過性の資材）で被覆してください。
市販されている除草剤には、農作物等の栽培管理に使用できない「非農耕地専用除草剤」があるので御注意ください。
農薬情報 (http://www.maff.go.jp/j/nouyaku/n_info/)
農薬登録情報提供システム
【詳細検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp301.jsp>)
【作物名検索】 (<http://www.acis.famic.go.jp/search/vtllp101.jsp>)

◎春の農作業安全運動を展開中です（4月1日～5月31日）
例年、4～5月は、農作業事故が多くなる時期となっています。
体調やまわりの状況を確認し、安全な農作業に努めましょう。
1 慣れた作業でも油断せず、注意して行いましょう。
2 必ず、作業の合間に十分な休憩を取りましょう。
3 自分を過信しすぎず、無理のない作業を行いましょう。
4 一人での作業は避け、やむを得ず一人で作業を行う場合は、家族に作業場所を伝え、携帯電話を持ちましょう。
5 家族や周りの人など、地域全体で注意を呼びかけましょう。

| 報道機関用提出資料 | |
|-----------|---------------------------------|
| 担当課 | 農産園芸課 |
| 担当者 | 野菜・畑作物振興グループ 大和山総括主幹 |
| 電話番号 | 直通 017-734-9485 内線 5076 |
| 報道監 | 農林水産部 船水次長（農商工連携推進監） 内線 4967 |